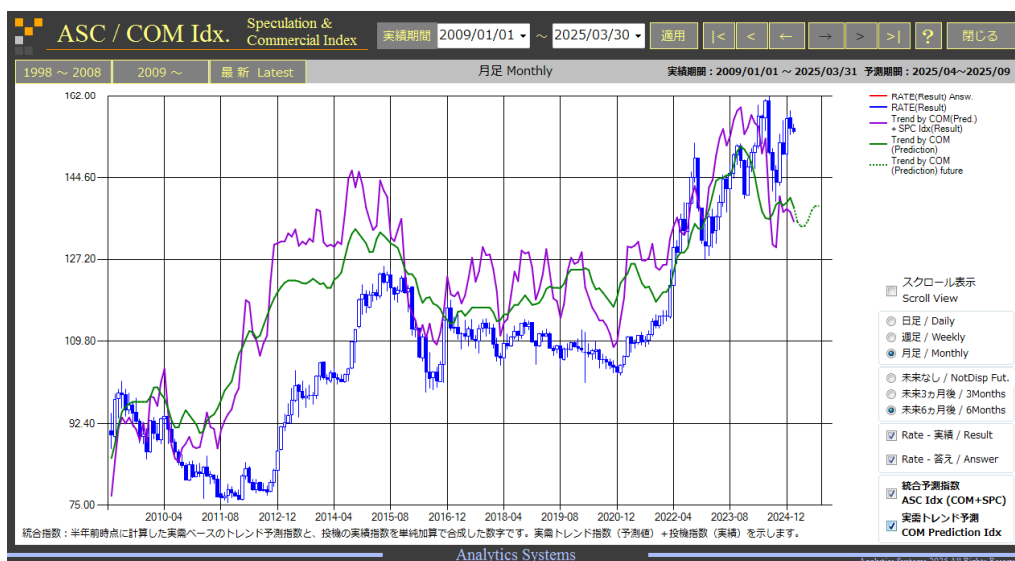


「為替が動いた原因は何だろう」・「この値動きは戻るのか、戻らないのか」と疑問に思ったことはありませんか？

[Analytics Systems FXSE \(アナリティクス・システムズ・エフエックス・エス・イー\)](#) が、疑問の解決をお手伝いします。

- ・ 為替を動かす2大要素、「実需」と「投機」の推移指数を提供
- ・ 要素特性（値動きの戻りが無い実需、戻りがある投機）から、為替が動いた理由の推測と今後の予測をサポート
- ・ 実需推移は半年後までの予測を提供、予測成績は損失回避率91%※

※損失回避率91%の詳しい計算方法は、別冊「FXSE独自指数の成績1）実需予測指数/COM 損失回避率」をご覧ください。



当社の母体となっている *Analytics Systems Laboratories* は、流体抵抗予測計算、コンピュータ並列計算の私設研究所として1999年に設立されました。その後2007年に金融予測を開始、以降18年に渡り研究を行っております。

当資料の内容には過去の実績精度を示している箇所がありますが、
今現在および未来の精度を保証するものではありません。

日本アナシス合同会社
Nihon AnaSys LLC

Analytics Systems Laboratories



この値動き、何で動いたんだろう、戻るんだろうか、戻らないんだろうか...
中長期的に、これからどのように推移するのだろう...

・・・Analytics Systems FXSE（エフエックス・エス・イー）が、
分析と予測をお手伝いします

Analytics Systems FXSE は、「実需」と「投機」が
ドル円為替レートに与えたインパクトを、独自の指数（推測値）で提供しています。
「実需」の指数は半年後までの予測値を提供しており、予測成績は損失回避率91%です。

実需と投機は未来に与える影響が異なりますので、為替を動かした要素の推測は、
次の動きを考える有力な材料になります。

皆様の為替トレーディングやアドバイザー業務に、
Analytics Systems FXSE をぜひご活用ください。

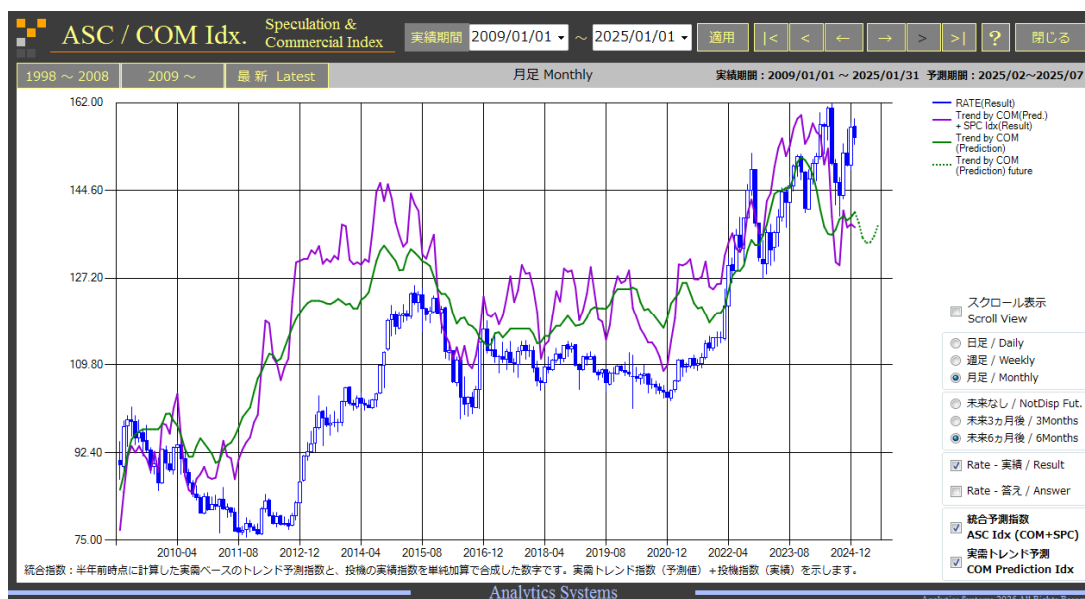
FXSEが提供する独自の指数

Indexes provided by FXSE

実需と投機の2要素で、為替の動きの大部分を表現

過去15年分のFXSE独自指数です。上下動の高い合致率をご覧くださいませでしょうか？
緑のグラフが「実需」の為替インパクト予測値、紫のグラフが「実需予測と投機実績」の合成値です。

（緑のグラフは、半年前の時点で予測していた数値です）



ここ15年の長期的な円安傾向は実需、短期的な上下動は投機と、
FXSEの指数で為替の動きの大部分を表現できることが観察できます。

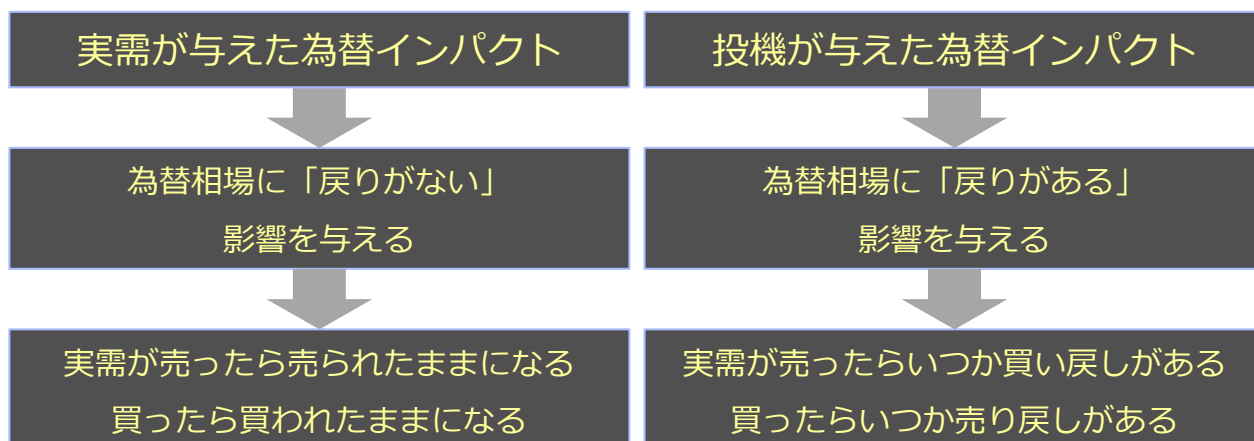


FXSE分析でできること

Analysis by FXSE

冒頭でも触れていますが、FXSEでは「実需」・「投機」の各々がドル円為替レートに与えた影響（為替インパクト）の推測値を、指数として提供します。

実需と投機には異なる性質がありますので、その性質を利用して次の一手を考えることができます。



戻りがないということは、実需によって引き起こされた値動きに対して逆張りしても、損失になる可能性が高いことを意味します。

また、戻りがあるということは、投機の指数が円安側の最大値付近にある場合で、実需の指数予測が円安方向ではない場合、円高方向への逆張りが有効に作用する可能性が高いことを意味します。

このように、同じ円安・円高でも、動いた理由を知ることで打つ手を変えることができます。

FXSEが提供する独自の指数は、その理由を推測する手助けを行います。

FXSE分析用指数について

Indexes provided by FXSE

FXSEが提供する分析用の指数は、次の3種類です。

1. 実需予測指数/COM・・・実需の半年後までの予測値を提供します
(過去の方は、半年前の時点で予測していた数値を提供します)
2. 投機実績指数/SPC・・・投機の実績値を提供します ⇒実需は予測、投機は実績です
3. 実需投機合成指数/ASC・・・実需と投機の合成値を提供します (未来分はございません)

分析理論

実需と投機の2要素で、為替の動きの大部分を再現できる理由

実需のメインはモノやサービスの購入対価支払いによる為替取引ですが、市場金利や金利・金融政策も「実需によって経済が動いた結果に対するアクション」ですので、実需の派生と考える事ができます。保険・年金による外債・外国株投資の開始と終了についても、金利・経済の結果を見て動く事を考えるとやはり実需の派生であると言えます。

つまり、ほとんどの要素の根底に実需がある事から、実需がカバーできる範囲が非常に広がっていると考えています。

また、実需・投機以外の要素として「為替介入」もありますが、為替介入は「投機ポジションが大きく円売り・円買いどちらかに傾いた際、解消する方向に介入する」ケースが多い事から、投機の要素と一緒に判断できると考えています。



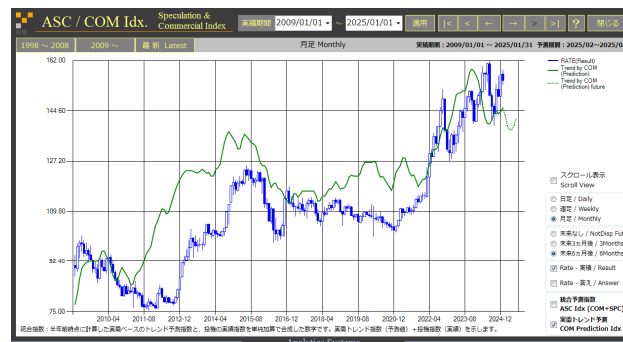
FXSE分析用指数について

Indexes provided by FXSE

1. 実需予測指数/COM

実需は、貿易やサービスなどの決済に使われる為替です。通常は支払いに使用すると戻ってこないお金ですので、為替相場には一方通行（動いた後、戻らない）の影響を与えます。

FXSEでは、実需が為替に影響を与えるインパクトの推測値として、半年後までの予測で「実需予測指数/COM」を提供します。中長期推移の予測や、投機を元にした取引を行う際の、円高/円安方向の安全性チェックにお役立てください。



2. 投機実績指数/SPC

投機は、売った・買った後に利益・損失確定の為の買い戻し・売り戻しがあります。そのため、為替相場に与える影響は一方通行ではなく、概ね1~6ヶ月以内に戻りが生じます。

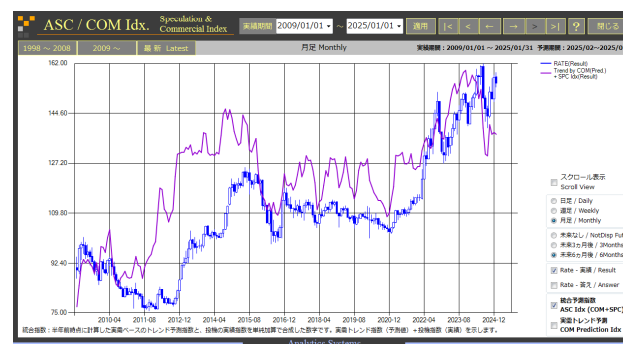
FXSEでは、投機が為替に影響を与えたインパクトの推測値として、週足の実績値「投機実績指数/SPC」を提供します。実需予測指数で方向の先行き安全性を確認した上で、1~6ヶ月の、短中期的な動きを利用した取引にお役立てください。



3. 実需 + 投機合成指数/ASC

実需推移予測指数/COMと、投機推移実績指数/SPCの合成指数「ASC」を提供しています。

実需・投機の2大要素が為替に与えたインパクト（推測値）と為替レートを比較することで、2大要素以外の要素で値動きが起こっていないか確認することができます。



指数の成績について

実需予測指数の予測成績は「損失回避率」として計算しており、過去25年の平均は91%です。詳しくは「[FXSE独自インデックスの成績（1）実需予測指数/COM 損失回避率](#)」をご覧ください。

また、過去25年分の指数・為替レートの推移と当社研究員のコメントが記載された資料「[FXSE独自インデックスの成績（2）過去25年分のチャートと解説](#)」も提供しておりますので、併せてご覧ください。



FXSE分析の活用事例

How to Utilize

為替アドバイザリー業務

「なぜドル円が動いたのか」について考える材料として、ご利用されてはいかがでしょうか。

実需指数・投機指数ともに元のデータは公的機関の発表値※で、指数は「AI予測結果」ではなく「国際収支を元にした計算値」や「IMMの投機ポジションを元にした計算値」です。一般的なAI予測と異なり、依拠するデータが明確で、根拠が安定しているのが特長です。

※指数の計算元データ 実需指数：日本国財務省発表の国際収支状況 投機指数：CFTC発表のIMMポジション

為替予約の判断

ドル円為替予約の計画を構築する材料に、実需予測指数をご利用されてはいかがでしょうか。

投機推移の多寡によっては実需指数とは異なる為替の値動きになることがあります、投機が概ね1～6ヶ月での上下動になる関係上、半年後までの実需をベースにした中長期予測は為替予約の規模と方向を検討する一助になります。

実需指数は毎月1ヶ月ずつ予測が進みますので、それに応じて見直しをかけると効果的です。銀行為替予約の場合、期日前の組み換えには（一般的に）手数料が必要になりますので、FXをベースにした為替予約を行う等、適時に見直しできる手法にしておくことをお勧めします。

FX取引

ドル円FX取引の判断材料に、FXSE分析をご利用されてはいかがでしょうか。

- 【活用例】① 戻りがない為替の値動きを起こす、実需の予測指数を確認
② 投機指数の方向と規模を確認（上下動のどの辺にいるのか・進むのか戻るのか）
③ 実需と投機で方向が異なる場合、短期的にはどちらが勝ちそうか予想
④ エントリー&スクエア

実需指数は毎月1ヶ月ずつ予測が進みますので、含み損の場合に損切りを行うかも判断可能です。



緑の点線が実需の予測指数で、
赤のチャートが結果のドル円です



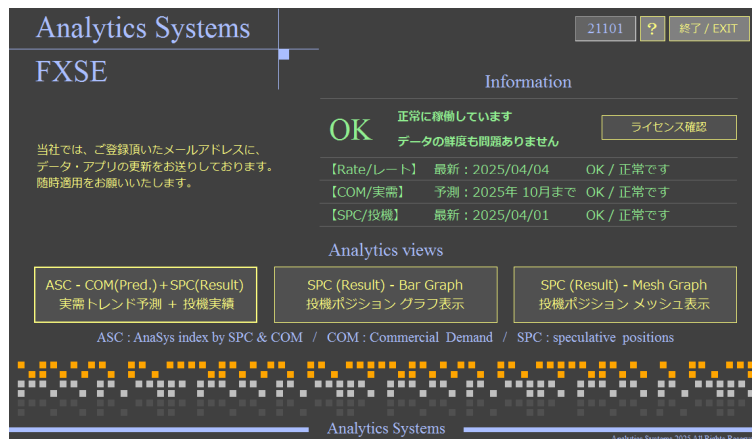


FXSEの画面

Features and Screenshots

メインメニュー・ライセンス情報

- ・各データ更新日と遅延有無の表示
 - ・当社からのメッセージ
 - ・メニューボタン
- 近日ライセンス満了の通知など、
当社からのメッセージも表示します。



【ライセンス情報ウィンドウ】

- ・ライセンスID
- ・お客様ご利用PC識別情報

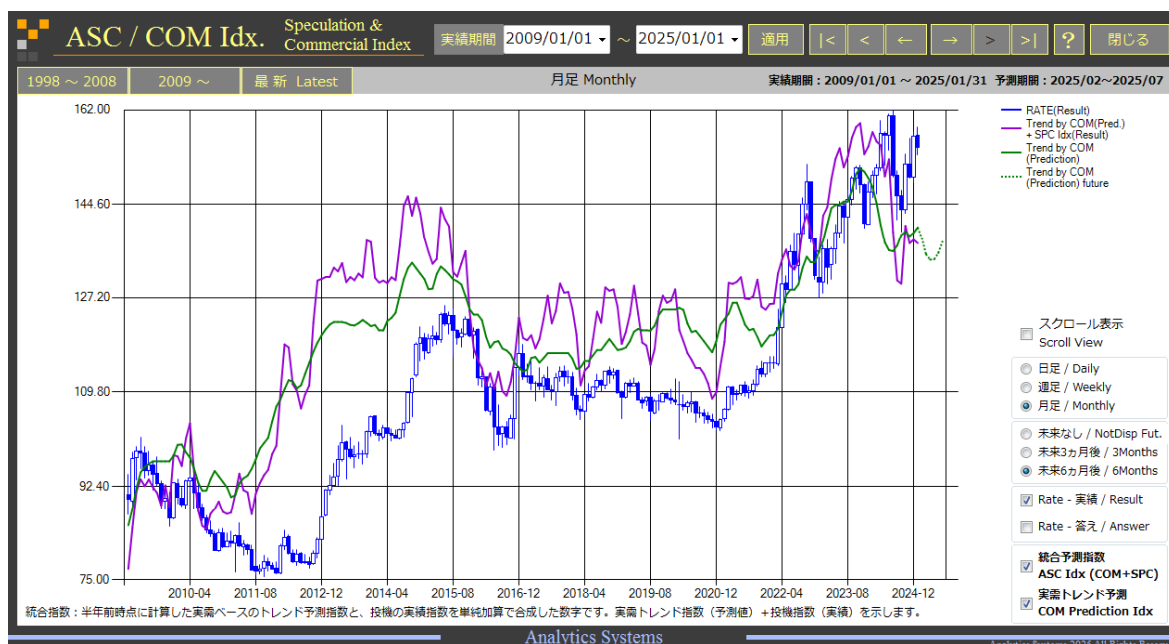
実需予測 + 投機実績合成指数/ASC 実需予測指数/COM

- ・日足/週足/月足切り替えが可能
- ・未来表示有無・過去の状態を再現した表示も可能
- ・緑のライン：実需推移予測/COM
- ・紫のライン：実需投機合成/ASC

実需推移予測/COMは、

- ・半年前時点で予測していた値
- ・半年後までの予測 を提供します。全て予測値です。

<> ボタンで1ヶ月・1年ずつスライド表示できます。



FXSEの画面

Features and Screenshots

投機実績指数/SPC

- ・ 週足（水曜日起点の週足です）
- ・ 円高安の偏り指数の他、円高側指数、円安側指数、投機総数も表示可能
- ・ 過去最大値に対する%での表示も可能

実績値のみで予測の提供はありません。
原則、前週の水曜日(朝)の時点のデータが
最新となります。

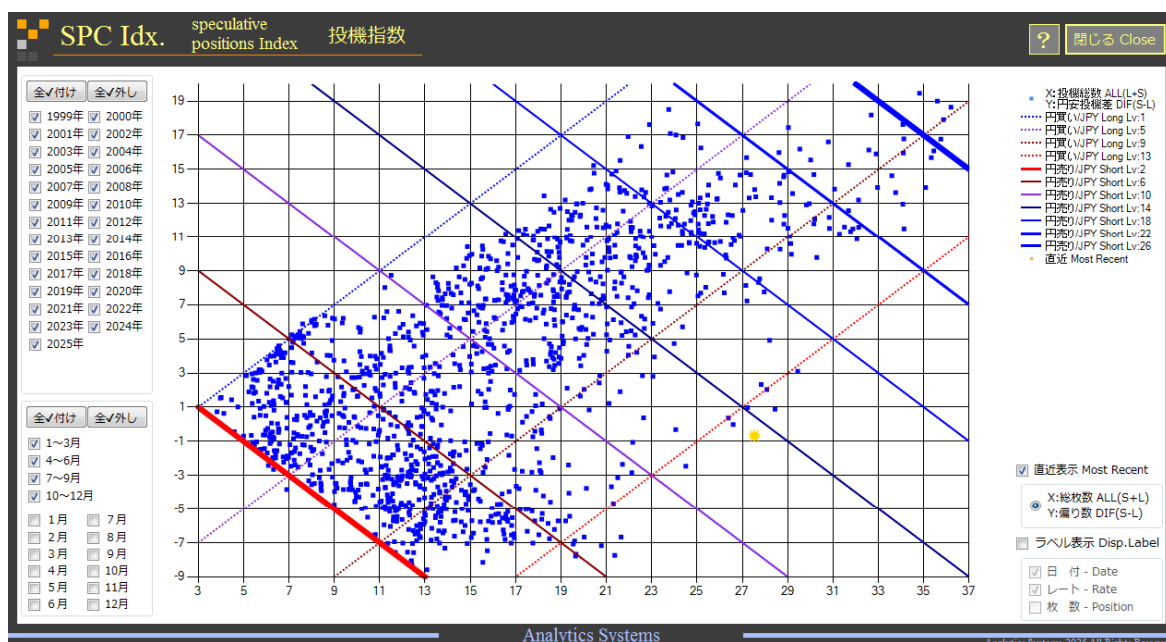
<> ボタンで1ヶ月・1年ずつスライド表示できます。



投機実績指数/SPC 《メッシュ表示》

- ・横軸：投機総数、縦軸：偏り指数
- ・年、月、3ヶ月区切りで選択表示も可能

投機の全体総数と、その円高・円安の偏り状況をメッシュ状に表示します。
過去の局面と現在の状況を比較する事が可能です。





サービスのご利用について

Use of our Services

当サービスは、PC 1 台ごと1年間のご契約となり、ご登録いただいたPCのみでご利用頂けます。PCのIDを当社にご連絡頂きますと、ライセンスIDと紐付けた予測データをお送りいたします。

週に1度の更新もメールでご連絡いたしますので、メールの送受信ができる環境をご準備ください。

適合業務

為替トレーダー、アナリスト、アドバイザー

当サービスのご活用には、金融・為替相場について一定の知識が必要です。個人の方もご契約いただけます。

価格

PC1台で、6ヵ月間ご利用可能なサブスクリプション料金

180,000円（消費税別） 消費税10%込み総額：198,000円

PC1台ごとにサブスクリプションご契約とご使用開始時のアクティベーションが必要です。当サービスは半年後までの推移予測を提供する関係上、料金は一括前払いのみとなります。予めご了承ください。

お客様にご準備いただくもの

- ・ダウンロードリンクが記載された、当社からの電子メールを送受信できる環境をご準備ください。メール送信元のドメインは「nihon-anasys.co.jp」です。
- ・当社が指定するウェブサイトアクセスして、ファイルのダウンロードが可能な環境をご準備ください。
- ・当サービスで使用するソフトウェアを実行できるPCをご準備ください。
※詳しいPC要件は次項をご覧ください。

動作PC環境

Microsoft® Windows10 または Windows11 を搭載した PC

- ・Windows10 / 11は、intel/AMD、32bit/64bit、Home/Pro/Enterprise いずれも可。ARMプロセッサ版のみサポート外です。
- ・.Net Framework 4.0以降、PowerShell Ver.5以降が必要です。
(通常、Windows 10 / 11 に標準で含まれています)
- ・画面解像度は1280×768ピクセル以上が必要です。
クリアなチャートでご覧いただくために、画面の拡大・縮小なしでのご利用をお勧めします。
- ・ウィルス対策ソフトウェアの当社製ソフトウェア除外設定が必要になる場合がございます。



お申し込みからご利用開始まで

From Application to Start of Service

FXSEサービスのお申し込みからご利用開始までの手順は、以下の通りとなっております。
お客様にご準備頂く内容がございますので、お申込み前にご確認ください。

サービスご利用規約をご確認ください

当サービスの定型約款を必ずご確認ください。
<https://nihon-anasys.co.jp/fxse-terms-of-use/>

お申し込みから
ご利用開始まで、

概ね **7** 営業日
となっております。

※当社から請求書をご発行後、
翌営業日にお振込みいただき、
翌々営業日に当社にて着金
確認できた場合です。

FXSEを使用するPCをご準備ください

ご使用PCをご登録後、50日間は一切変更できませんので
ご注意ください。

当社サイトからお申し込みください

お申し込みは下記のウェブサイトからお願いいたします。
<https://nihon-anasys.co.jp/inquiry/>

お支払をお願いします

当社銀行口座宛ての一括お振込み払いとなっております。
他のお支払方法はご利用いただけません。

当社から、メールにて
PDFファイルの請求書をお送りいたします

FXSE PCチェッカーの導入と起動

ご使用予定のPCに関する環境チェックと、当社登録用の
PC固有情報の抽出を行います。

当社から、専用ソフトの
ダウンロードリンクをお送りいたします

PCチェッカー起動結果をご連絡ください

PCチェッカーの実行結果をコピーして、当社宛てに
メール、もしくはお問合せサイトからご送信ください。

当社から、FXSE本体の
ダウンロードリンクをお送りいたします

FXSE 本体の導入（ご利用開始です）

これ以降は週に1度のデータ更新をお送りいたします。
適宜ご適用のうえご利用ください。



重要事項

Important Notice

ご契約・ご利用条件について

FXSEの利用契約は当社が作成した定型約款「FXSEソフトウェア・サービスご利用規約」が適用されます。FXSEのご利用を申し込まれた場合、定型約款を契約の内容とする旨に合意したとみなされます。

定型約款「FXSEソフトウェア・サービスご利用規約」の内容は、下記ウェブサイト「FXSEソフトウェア・サービスご利用規約」からご確認ください。

<https://nihon-anasys.co.jp/fxse-terms-of-use/>

当資料記載の内容について

当資料は、日本アナシス合同会社および私設研究所「Analytics Systems Laboratories」（以下、両組織を総称して「アナリティクス・システムズ」といいます）が提供しています。

当資料に掲載されている情報には、予測など将来の見通しに関する事項が含まれている場合があります。こうした事項には一定のリスクや不確実性などが含まれており、経済情勢や市場の動向の変化等により、実際の結果とは必ずしも一致するものではありません。

当資料には過去の実績精度について具体的な数字を示している箇所がありますが、今現在および未来の精度を保証するものではありません。

利用者は、利用者が当資料掲載の内容を依拠とされた場合でも、アナリティクス・システムズは一切の責任・賠償義務を負わない事をご承知おください。

当資料に掲載されている情報には、アナリティクス・システムズ独自または一般的に認知されていない見解が含まれている場合があります。見解の掲載に際して、アナリティクス・システムズではその信頼性を客観的な根拠となるデータで確認し情報提供する様に努めておりますが、見解が事実である事を証明する義務はありません。

当資料掲載の情報は、利用者に特定の取引を行うことを推奨するものではありません。当資料掲載の情報は、有価証券、金融商品の推奨もしくはその売買の申込み・申込みの勧誘、または特定の投資戦略をとる・ヘッジ含む投資行為を行うことの勧誘とみなされてはならないものとします。

Analytics Systemsについて

About Our Company

当社および研究所のご案内

下記ウェブサイト「Analytics Systems について」ページをご覧ください。

また、「資料ダウンロード」ページより、当社・研究所のご案内をダウンロード頂けます。

<https://nihon-anasys.co.jp/company-overview/>

お問い合わせは・・・

下記ウェブサイト「Analytics Systems お問い合わせ」ページから、お問い合わせください。

<https://nihon-anasys.co.jp/inquiry/>